

土砂災害にも注意しましょう

勾配の急な山や崖の多い日本は、土砂災害が発生しやすい地形的な特徴をもっています。危険を察知するためには、事前に土砂災害に関する正しい知識と、自分が住んでいる土地について知っておくことが大切です。

■土砂災害による被害の種類

がけ崩れ

急傾斜地



がけ崩れは、急な斜面が突然崩れ落ちる災害で、傾きが30度以上のがけは要注意です。

特徴

がけ崩れは、大雨や長雨、雪解け水が、地面にしみ込んだことが原因で起きたり、地震の揺れによって起きます。前ぶれがあまりなく、突然、大量に崩れる特徴があります。危ないと思ったらできるだけ早く避難することが大切です。

前ぶれ

- 斜面にはらみ、亀裂ができた。
- 小石が斜面から落ちてきた。
- がけから水が吹き出てきた。

地すべり



地すべりは、割合ゆるい傾きの斜面で、地面が大きなかたまりのまま、ゆっくりすべりますが、突然一気に数メートル動くこともあります。

特徴

何層にも積み重なった地層の、水を通しにくい粘土質などの層にしみ込んだ雨水や雪解け水が、そこから上の地面を浮きあげ、すべりだすのが主な原因です。地すべりは、広範囲で起きるため、家や道路、鉄道などが一度に大きな被害を受けます。

前ぶれ

- 地鳴りがする。
- 沢水や井戸水に濁りがある。
- 家や擁壁に亀裂が入る。

土石流



土石流は、大雨などで山がくずれ、くずれた土砂が水と混じってどろどろになり、通りにある岩や木を巻き込んで津波のように流れてくるものです。

特徴

土石流は、大きな石や岩を先頭に、街中を走る自動車と同じくらいのスピード(40~50km/h)で、家や田畑を押しつぶしながら流れます。山のふもとの扇状地や、谷の出口では、特に注意が必要です。

前ぶれ

- 山鳴りがする。
- 川の水が急に少なくなった、濁った。
- 異様な臭いがする。

土砂災害は突発的に発生し、すさまじい破壊力で一瞬にして多くの生命や財産を奪っていきます。

土砂災害の恐れのある危険箇所は全国に約52万箇所もあり、年間約1,000件の土砂災害が発生しています。

福島市内にも多くの危険箇所が存在します。また、山間部だけでなく、新たな宅地開発が進む市街地近郊でも土砂災害の発生が懸念されています。

